

11月 給食だよ

2024. 10. 31

季節の味に出会う給食

過ごしやすい気候となり、子どもたちは近隣の公園へ秋探しに出かけています。公園から帰ってきた子どもたちの手には、どんぐりや、彩り豊かな葉っぱがいっぱいです。

給食の時間にも、秋探しは続きます。いつもは人参が入っている白和えですが、秋は柿に変わります。“にんじん！”と口に入れると、“あれ？甘い…？”と、不思議な表情を浮かべるたんぽぽぐみの子どもたち。

“柿だよ～！どんな味？”と尋ねると、“あまーい！”と、笑顔が溢れます。“甘いね、おいしいね”と、みんなで共感しながら幸せな時間が流れています。

ただ食べるだけでなく、さまざまな味に気づき、季節の味を知る機会になればと思っています。11月の給食も秋の味覚がいっぱいです。五感で味わうことを大切に、子どもたちの豊かな感性の育ちにつながることを願っています。給食メニューは、玄関前のレシピで紹介しています。リクエストもお待ちしております。

おさかなたべたいな

魚の給食の日には、脂ののった鯖やさんまなどの新鮮な旬の魚が子どもたちに届きます。丸ごとの魚を見ると、手を伸ばし積極的に触ろうとする、れんげぐみの子どもたち。口の中をのぞいてみたり、指を入れてみたり、“おめめー！”と、目を発見する姿も…。正面から見る魚の顔はちょっぴり怖いことも知りました。散歩から帰ってきた子どもたちから“おさかなたべたいな”という言葉が聞こえ、とてもかわいかったです。

丸ごとの魚は、目の前でほぐします。すみれぐみでは中から大きな骨が出てくると目をまん丸にし、“わあ～!!”と歓声が上がります。“どこがおいしいの？”と、頭やほっぺの身も食べてしまうほど、魚を食べる事が大好きになっています。目の前で骨を見ることで、自分たちで身の中から骨を探したり、口から出すことも上手になっています。

魚の価格も高騰していますが、できる限り多く提供できるように努力していきたいと思っています。

うどんうかい たのしかったよ

～食べることは人とつながり生きること～

今年も“うどん会の楽しかった思いを、食べる事を通して感じられる日に”と全クラスでクッキングをしました。「ゆかいなかえるおにぎり」を兄弟グループの友だちにもつくったのはなぐみのこどもたち。“えーめっちゃすごいやん。かわいい！ありがとう。”“なんか私の大きいな。いっぱい食べてと思って大きしてくれたん？”“そんな会話が聞こえてきました。また、「人参しりり」をつくったあさいぐみのこどもたち。“にんじんしりりってな、沖縄の料理でな、包丁みたいな刃がいっぱいついたやつで、にんじんこうやったら、しりりって音がするんやで”と、得意気に作り方を伝えている姿がありました。

そしてひまわりぐみのこどもたちは、荒馬が生まれた青森県の伝統料理の「せんべい汁」をつくりました。“青森は寒いから、米があまりとれないから、小麦粉でつくったせんべいをお汁にいれて食べます”と、お家で調べてきた由来をみんなの前で紹介しました。

自分たちのつくった料理を通して、うどん会の取り組みがもっと楽しいものになり、文化の伝え合いが生まれたり、親子の関わりの中で興味が深まっていく姿がありました。

乳児クラスのクッキングの様子はHPで紹介しているので、ぜひ見てください。

食の安全を 考える No.3

今の食品表示ってどうなってるの？

～正しく知って正しく選ぼう！～

10月の給食だよりでお伝えした『食品表示』のお話。今月は、さまざまな食品表示の疑問を紹介できたらと思います。

Q、コンビニ弁当に使われている材料は、ごはん以外の産地表示がないのはなぜ？

A、最も多く使われている材料の産地だけを表示することになったからです。他の食材が国産なのか、輸入品なのかは、生産者のみぞ知る状態です…。

Q、納豆などの大豆の後ろにある「分別生産流通管理済」とは、なにを意味するの？

A、輸入大豆は、栽培、収穫、移送の過程で遺伝子組み換え大豆の混入を防ぐことが困難です。そこで、意図せず混入した遺伝子組換え大豆の混入を5%以下に抑えているものに、表示しています。

Q、スーパーに並んでいる、具体的な産地の記載がない“国産鶏肉”の産地はどこなの？

A、国産鶏肉の多くは、調理することを目的につくられたブロイラーです。すぐに成長するように改良された鶏の肉ということです。ほとんどが外国からきた交雑種で、日本で育てられたことで、“国産”という名前がついています。

今回例に挙げたものはほんの一部で、まだまだわからない『食品表示』が多くあります。食品表示はもともと消費者の権利を守るためにあります。消費者の権利とは、消費者が「安全である権利、知らされる権利、選択できる権利、意見を反映させる権利」の4つが提唱されています。今の食品表示ではこれらの権利が保障されているとは言い難いです。しかし、私たち消費者も何もわからないまま選ぶのではなく、知る努力をしていかなければならないと感じます。疑問に思うことなどもどんどん募集していますので、給食ポストやノートにご意見頂けたらと思います。次回は、遺伝子組み換え食品についてお伝えできればと思っています。

